

Kanon

神奈川県
合唱連盟
機関情報誌

カノン

2021年度
冬号
No.116

発行：2022.1.10

2022年 新年挨拶

明けましておめでとうございます。

この2年間は、合唱にとってとても厳しい2年間でした。

そのような状況下でも、神奈川県合唱連盟は、合唱活動を止めることのないよう、リモート合唱コンクールに取り組んだり、コンクールにおいては、感染拡大によって突然出場辞退をしなくてはならないような団体のことを考え、実演と音源によるハイブリッド方式の実践を全国に先駆けて行い、その方法は関東一円に広がりを見せ、関東大会においても、その方式は引き継がれました。中止を早々に決めた地域からは、羨ましいとの声も頂きました。感染症対策を最大限に取り組み、ホールのガイドラインが厳しい中でも、今できることを精一杯やるということを、模索し続けた2年間であったと言えます。

しかし、この間の行事における参加団体数や参加人数は、以前の状況には程遠く、収入の激減した県連の財政は、危機的な状況となってしまいました。新年から暗い話題で恐縮ですが、多くの方々にこれからの行事への参加を検討して頂き、支出内容の精査をさらに行うとともに、会員の皆様に資金的なご協力を頂かなくてはなりません。皆様

と力を合わせて、なんとかこの危機的状態を、乗り越えてゆきたいと思っておりますので、何卒、ご理解ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



そんな中、神奈川県合唱連盟は、今年は通常の行事のほか、10月9日(日)に相模女子大学グリーンホールで「第77回関東合唱コンクール大学職場一般部門」を主管致します。関東大会というと、昨年の3月に関東ヴォーカルアンサンブルコンテストを主管する予定でしたが、緊急事態宣言のため、対面での開催ができず、県外の方々をお迎えするのは、2019年の7月に主管した、全日本おかあさんコーラス関東支部大会以来となります。大変な時期ですが、多くの団体に出場して頂きたいとともに、多くの皆様のご来場をお願い致します。

2022年、豊かな合唱音楽が、多くの場所で満ち溢れますよう、祈りを込めて、新年のご挨拶と致します。

神奈川県合唱連盟副理事長 岩本 達明

第76回 関東合唱コンクール (第74回全日本合唱コンクール関東支部大会)

昨年は中止となった全日本合唱コンクール、今年度の関東大会は、中学校・高等学校部門は9月18日(土)19日(日)さいたま市文化センターにて、大学職場一般部門は10月10日(日)山梨県立県民文化ホールにて開催されました。

本県出場団体の審査結果は以下の通りです。(賞ごとに出演順)

中学校・高等学校部門

日程：2021年9月18日(土) 高等学校部門 9月19日(日) 中学校部門 会場：さいたま市文化センター

【高等学校部門 Aグループ】

金賞 清泉女学院高等学校音楽部

銀賞 日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

〃 神奈川県立相模原弥栄高等学校合唱団

【中学校部門 同声合唱の部】

金賞 清泉女学院中学校音楽部

銀賞 海老名市立今泉中学校

【高等学校部門 Bグループ】

銀賞 神奈川県立湘南高等学校合唱部

銅賞 桐光学園高等学校合唱部

【中学校部門 混声合唱の部】

銅賞 桐光学園中学校合唱部

大学職場一般部門

日程：2021年10月10日(日) 大学職場一般部門 会場：山梨県立県民文化ホール

【大学職場一般部門 同声合唱の部】

金賞 La Pura Fuente

銀賞 緑フラウエンコール

〃 Healing Friends

【大学職場一般部門 混声合唱の部】

銀賞 湘南ユースクワイア

第74回 全日本合唱コンクール全国大会

第74回全日本合唱コンクール全国大会は、10月30日(土)31日(日)に中学校・高等学校部門がiichiko 総合文化センター(大分)にて、11月6日(土)に小学校部門が所沢市民文化センターにて、11月20日(土)21日(日)に大学職場一般部門が岡山シンフォニーホールにて開催されました。神奈川県からの出場団体はそれぞれに個性を發揮した演奏で優秀な成績を納められました。審査結果は以下の通りです。

高等学校部門 Aグループ

日程：2021年10月30日(土)

会場：iichiko 総合文化センター

金賞 清泉女学院高等学校音楽部 [大分県教育委員会賞]

小学校部門

日程：2021年11月6日(土)

会場：所沢市民文化センター

銀賞 川崎市立坂戸小学校

中学校部門 同声合唱の部

日程：2021年10月31日(日)

会場：iichiko 総合文化センター

金賞 清泉女学院中学校音楽部

大学職場一般部門 同声合唱の部

日程：2021年11月21日(日)

会場：岡山シンフォニーホール

金賞 La Pura Fuente [岡山県教育委員会教育長賞]



コロナの影響で練習が限られ、多くの葛藤はありました。でも、本番素晴らしいホールでしかもマスクを取り、キラキラした子どもたちの笑顔と思いっきり歌声を響かせられた数

分間でそんな葛藤は吹っ飛んでしまいました。何があってもあきらめずに子供たちと合唱を続けてきたことがこんなにも意味のあることだったんだと幸せな気持ちでいっぱいです。また、会場で全国レベルの素晴らしい合唱を子供たちと一緒に堪能できたことも大きな財産となりました。コロナ禍で合唱団のために協力して下さった坂戸小学校の沢山の方々、そしてこのような機会を与えて下さった合唱連盟の皆様本当に感謝しております。ありがとうございました。

坂戸小学校合唱団 森 円佳

清泉ファミリー3団体、全国大会でトリプル金賞

コンクール中止の発表に涙した昨年度の春から1年8ヶ月が過ぎ、合唱界にも希望の光が見え始めたこの頃です。オンライン授業のため登校できず対面練習のない鬱々とした日々が続いた時もありましたが、基礎トレーニングビデオの配信、録音課題提出によるレッスン、Webパート練習によって部員同士の絆を深めてきました。高校生は中学時代に会得した技術力と練習方法をベースに計画的に練習していましたが、コンクール経験者が7人しかいない中学生は、人前でマスクなしで歌ったこともなく不安で一杯…緊急事態宣言発出のため週1回の練習を頼りに臨んだ関東大会の頃が、そのピークだったように思います。幸いにも感染状況が安定した大分県での全国大会、部員一同、久々の遠出に笑顔で飛行機に搭乗、大分県の自然を車窓より楽しみながら、iichico文化会館へと向かいました。

今年の高校生の自由曲は、Levente Gyöngyösi 作曲“Super flumina Babilonis”と、今年度の合唱祭に講師としてお招きした首藤先生の“Dies iræ”です。バビロン捕囚の際のユダヤ人の“祖国を思う嘆きと苦しみ”から、“未来に向かう団結力”へと変化する心情を、コロナと闘う人類の様相に重ね合わせ、祈りを込めて歌



清泉女学院中学校（空港到着前に）

いあげました。演奏終了後に空港に向かう途中、「金賞、大分県教育委員会賞受賞」のWeb発表を見て大喜びしたとのこと。中学生は、横山潤子作曲、7声部にも分かれるアカペラの「ありったけの夏」と、イタリアの新進作曲家 Simone Campanini 作曲“Gloria”。安定しない感染状況や各地で多発する紛争、自然災害など鬱々としたニュースの絶えない日々、生命の尊さを噛み締め思いつきの笑顔で歌いたいと選んだ曲です。ジェット機音にのせ、未来に向かう希望が会場に響き渡り金賞受賞、心合わせて努力した結果が実りました。表彰式がないこと、大分県の見学ができなかったことは残念だったようですが、大ホールで歌えた喜びを胸に帰路につきました。

全国大会の晴れの舞台で中学、高校そしてOGの3団体が、清泉サウンドを響かせることができましたことが最高の喜び。さらに神奈川県の皆様の応援をいただき、3回連続トリプル金賞を賜ることができましたことを心より御礼申し上げます。また、合唱の大会開催が困難な中、感染予防対策を講じながらも、例年と変わらない規模のコンクールを開催していただいた全国の合唱連盟関係者の皆様に、部員一同、心より感謝申し上げます。

清泉女学院中学高等学校音楽部 佐藤 美紀子



清泉女学院高等学校（演奏を終えて笑顔）

2年ぶりとなる全国大会、La Pura Fuenteは同声合唱部門において金賞、そして岡山県教育委員会教育長賞を頂くことができました。

課題曲は「夜来香」。明るく透き通った“清泉サウンド”で表現できるよう練習を重ねました。

自由曲は“歌の民族”と呼ばれるラトビアの作曲家の作品で、一曲目「Laudate...」では主への賛美を高らかに歌い、二曲目「VAKARDZIESMAS」では自然豊かな地に生きる人々の生活の情景や音、歌声を、民謡らしい明るい掛け声と共に表現しました。

コロナ禍という大きな壁を乗り越えるに当たり、団員の絆や団結力を再確認することができました。これか

らも高みを目指し邁進してゆきますので、合唱連盟並びに関係者の皆様には、引き続き温かく見守って頂きますと幸いです。

La Pura Fuente 須田 琴子





シニア部会再出発!! /

第27回ヴィサン《人生百歳》

ジョイント・コーラスフェスティバル



2021年の8月16日、新型コロナ新規感染者数が過去最多2,854人を記録した神奈川でしたが、開催日には21人、東京都も20人と収束し、11月18日(木)、第27回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルが、やまと芸術文化ホール・メインホールにて無事開催されました。コロナ禍での制限により舞台になかなか立てない合唱団への救済として今回に限り参加資格の年齢制限をなくし、感染者数減少による制限緩和として舞台上40名まで、直前リハーサルも導入し、細心の注意と対策を講じ、スタッフはこれまでにない気合と緊張感を以って運営に臨みました。みなとみらいホール改修工事に伴い23年ぶりの会場変更、シニア団体参加多数のヴィサンにとっては会場の『段差』が障害となるわけですが、やまと芸術文化ホールは最新設備と響きの良さに加えて、ホール全体がバリアフリーとなっており、足腰に不安のある方でも安心して移動する事ができました。合唱祭に引き続き、協賛のカンロ株式会社様から『ボイスケアのど飴』をご提供いただき、全参加団体にお持ち帰りいただきました。今回シニア部会から3団体(おたまじゃくしの会、コール・コサージュ・男声合唱団ひびき)、他加盟団体10団体、未非加盟7団体、計20団体337名がご参加くださり、コロナ禍という厳しい環境の中で、各団、本当に素晴らしい演奏をご披露くださいました。何より、杖をつきながら、またメンバーに支えられながらステージに立ち、素晴らしい演奏をご披露くださったシニア合唱団の皆様にご心より感謝申し上げます。次回は11月22日(火)、みなとみらいホール大ホールでお待ちしております!!

ヴィサン実行委員長 杉山 範雄

第27回ヴィサン

表彰団体

サング賞 (参加5回)

コーロ・しるふれい

エフォル賞 Aブロック

グリーンベル女声合唱団
鎌倉湖畔コーラス
湘南はまゆう

エフォル賞 Bブロック

グリーンフラッシュ
Ensemble Calmo
緑フラウエンコール
ボカ・グランデ^{SHO}
女声合唱団「松」



講師 早河 明子 先生 志澤 彰 理事長



マスクをつけてもチャーミングなパフォーマンス

合唱講座「メサイアの魅力」

昨年に引き続き『第55回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会』が、開催見送りとなりましたことを受け、神奈川県立音楽堂様から、神奈川県合唱連盟とともに長年続いてきた「メサイア」の灯を絶やさないため、合唱講座「メサイアの魅力」を開催したいとご連絡を頂き、その実施に向けて取り組んでまいりました。

講座は、2021年12月10日（金）18:15～20:15に、県立音楽堂において、100名を超す聴講者を迎え、開催されました。

講師は、チェンバロ奏者で、東京藝術大学教授でもあり、神奈川県民ホール舞台芸術講座の人気講師、そして2022年の音楽堂「メサイア」指揮者として予定されている、大塚直哉先生が担当されました。

今回は、客席での聴講者とともに、モデル合唱として舞台上でメサイアの合唱を歌いながら受講する20名も募集しました。ピアノはいつも弾いて頂いている山部陽子先生です。

当日は、チェンバロの演奏や実際に歌いながら「メサイアの魅力」について、レクチャーが行われ、とても素晴らしい内容で、ご指導ごとに音楽堂に素敵な響きが虹のようにかかり、来年のメサイア公演に対する期待が高まりました。

来年は、より多くの皆さんとメサイアを歌いたいものです。

神奈川県合唱連盟副理事長 岩本 達明



モデル合唱団



大塚 直哉 先生

県連からののお知らせ

県連顧問(前理事長) 松村努氏が表彰されました

松村努前理事長（2012～2017在任）が、2021年6月に県の最高表彰の一つである「神奈川県県民功労者表彰」を受けられました。また、11月には文化庁の「地域文化功労者表彰」の被表彰者にも選ばれました。

いずれも、永年にわたり合唱指揮者として優れた活動を行うとともに、神奈川県合唱連盟理事長等を務め、地域文化の振興に貢献していることが認められたものです。

かながわユース・コーラルフェスト 2021

12月19日(日)清泉女学院講堂にて、かながわユース・コーラルフェスト2021が開催されました。

今回は「横山潤子の世界 一音符を歌う 余白を歌う」と銘打って、個性豊かな和声感と感性が注目される作曲家、横山潤子先生を講師としてお招きし、楽曲の原風景と、横山作品の特色と魅力について解説していただきました。

各校の演奏では、楽曲のエピソードなどと共に、拍子にとらわれずに語る歌い方や、言葉に合わせた母音の音色の変化や、繰り返し歌われるフレーズのテンポ表現など、1校ごとに具体的なアドバイスやレッスンをしていただきました。

また、合同合唱では「たましいのスケジュール」を課題曲に、楽しくわかりやすい例えを交えながら、休符を歌うことの大切さや、沈黙の切り取り方やつながり方、またフレーズのエネルギーの方向

性、歌詞の捉え方など短時間で多くのことを教えていただきました。横山先生のご指導に触れ、ひとつ一つの言葉が主体的に生き生きと自由に表現されつつも、約300人の一体感のある演奏に感動が広がりました。

約2年間続く長いコロナ禍の学校生活で、他校の演奏を聴く機会や合同合唱のような歌声の交流がなくなってしまった子供たちにとって、今回作曲家の先生に直接コメントをいただけたことは、貴重で充実した時間となったことと思います。生徒たちの輝く笑顔に心が洗われ、合唱の素晴らしさを改めて実感しました。ご参加いただいた顧問の先生方、また熱心にご指導していただいた横山先生、本当にありがとうございました。

ユースコーラルフェスト実行委員 福王寺 佑子



合同合唱指揮 岩本副理事長 講師 横山 潤子 先生



熱の入った講習

リレーエッセイ No.35 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は **大津 康平** 先生です。

はじめまして！



私の合唱との出会いは、小学校3年生・札幌の小学校合唱団でした。埼玉県の小学校から転校した私は、「皆が集まってなにかをやるのがなんとなく楽しそう！」そんな軽はずみなきっかけで始めたのだと思います。私はいま都内の少年少女合唱団で子ども達と音楽をしています。所属していた小3の子が札幌に転校することになり、なんと私が合唱を始めた当時の恩師のもとで合唱を続けているとのこと。とても嬉しい偶然に、音楽が繋げてくれる不思議なめぐりあわせがあるのだなあと感じています。

大学院を卒業して合唱指揮者1年目のことです。千葉県のユース合唱団を率いて、全日本合唱コンクール全国大会に出場し、指揮しました。(前年度は県大会

最下位からの全国というのもおもしろい。) 母校である高校の仲間たちでつくったグループで、地域のイベントやコンクール等に参加していたわけですが、コンクールの結果にこだわるというよりは関東大会や遠方に行った時の観光が楽しくて、それが活動の最大のモチベーションになっていました。気の知れた友達同士での日々の練習もとても楽しかったことを覚えていますし、全国大会という大舞台も忘れられない最高の思い出です。ただ…、翌年以降「ふたたび全国大会へ！」とコンクール結果への欲望が私を苛み、音楽を窮屈にさせ、最終的にその団が解散に至ってしまったことは私の中で反省している点です。

平成3年生まれの30歳です。若手合唱指揮者と周りから呼ばれるので浮かれています。一回り下の大学生や少年少女合唱団の子たちと居ると「いつのまにか年をとった」と感じます。毎日2つ～3つの合唱団をハシゴすることは結構な激務で、並行して声楽の演奏活動やレッスンをしているとなかなか喉を休める暇がありません。このような日々を何歳まで続けられるのだろうかと考えることがあります。もちろん、そのような日々をこなされている先輩指揮者は大勢いらっしゃるのですが、そのバイタリティが既に羨ましいです。健康第一で(私も世の中も!) これからも合唱が続けられたら良いなあと思います。

私の祖母が神奈川県在住です。神奈川県内での合唱活動に縁が結ばれますように！

次は、谷本喜基(たにもとよしき)さんにバトンタッチします。

次回は谷本 喜基先生にお願いしました。

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ 無料掲載：「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント（50字以内）の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

◆ 有料掲載：1/8^号 ¥2,500、1/4^号 ¥5,000、1/2^号 ¥10,000、1^号 ¥20,000（未加盟団体は倍額となります。）

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものに付きましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。※切り厳守をお願いします。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿〆切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定（2022年2月～2022年12月）

- 第44回神奈川県合唱フェスティバル～神奈川県男声合唱フェスティバル～ 2月11日(金・祝) 神奈川県立音楽堂
- 第40回神奈川県ジュニア合唱祭 3月27日(日) 関内ホール 大ホール
- 第45回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 4月23日(土) 戸塚公会堂
(または 神奈川県立音楽堂)
- 2022年度定時総会 5月予定 (会場未定)
- 第65回神奈川県合唱祭(4日間) 6月11日(土)・12日(日) 神奈川県立音楽堂
6月25日(土)・26日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第65回神奈川県合唱コンクール 8月20日(土)・21日(日) 神奈川県立音楽堂
(第77回関東合唱コンクール神奈川県大会)
- 第77回関東合唱コンクール(大学職場一般部門) 10月 9日(日) 相模女子大学グリーンホール
- 第28回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル 11月22日(火) 横浜みなとみらいホール 大ホール
- 第55回メサイア演奏会(主催：県立音楽堂) 12月11日(日) 神奈川県立音楽堂

編集後記：最初は息苦しくてたまらなかったマスクも、今では人前で外すことにちょっと躊躇してしまうほど、生活になじんでしまいました。感染者数は激減していますが、このまま終息に向かうのでしょうか。晴れてマスクを外して歌うことができる日が、近くまで来ているといいですね！
(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 志澤 彰 編集責任者：青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐：平日：月火木金（休祝日を除く）12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

